

令和5年度  
 小山町立するがおやまこども園評価「自己評価書」

1 教育・保育目標

「金太郎のように 心ゆたかで たくましい子」  
 考える子            やさしい子            元気な子

2 重点目標及び具現の方策

**重点目標** 「みんなでわくわく遊べる子」

**具体的方策**

- ・乳幼児一人一人が自己発揮できるよう、内面理解と個に応じた援助の工夫や温かいかわりを  
 する。
- ・豊かな体験ができる環境と保育の内容の充実に努め、子どもが経験したことを自分のものにし  
 ていく過程を大事に受け止める。
- ・「幼児期のおわりまでに育てたい10の姿」を意識した保育の展開や振り返りの積み重ねをし、  
 発達や学びの連続性を図る。
- ・子ども・保護者・保育者・地域との連携を図り、教育効果を高める。
- ・第1園舎第2園舎との連携の深化を図り、園・地域等に開かれた園をも目指す。

3 項目別評価

評価項目	項目別 評価	評価の理由	職員 アンケート 結果	保護者 アンケート 結果
教育目標・園目標	A	おたよりや参観日などを通して伝えること で保護者に浸透してきた。	B	A
教育課程・保育計画	A	指導計画を子どもの実態に合わせて職員が 共有することを確実にしていきたい。	B	A
保育指導	B	子どもたちが、様々な場面で自ら発信するこ となどができるように援助していきたい。	B	A
研修	B	研修後の振り返りを、休憩時間を利用して職 員全体が共有し保育につなげていきたい。	B	
特別支援教育	B	気になる子に対して、支援方法を多面的に捉 え行うために、休憩時間や園内研修を計画的 に進めていきたい。	B	
安全管理	A	週1回の安全点検や毎日の園内見回り日誌な ど、環境に対しては充実している。安心安全 の為に、今後も継続して行っていきたい。	A	A
保健管理・食事	A	手指消毒や毎日健康チェック表の提出など 子どもの健康管理やアレルギー児に対する 対応など今後も職員全体で声を掛け合っ て行っていきたい。	A	A
組織運営・情報管理	B	経験差のある保育者同士が協力して、活気あ る園づくりを行っていきたい。	B	A
情報提供	A	地域版を通して地域の方に園の様子を伝え たり、マップを作成して地域の良さを保護者 に伝えることができた。	A	A
保護者・地域との連携	B	工夫して積極的に地域の方との交流を行っ たり、保護者に対しては、よりコドモンを活 用していきたい。	B	B
子育て支援	B	成美地区に未就園児が少なくなりぺんぎん ランドの参加者が減っている。また、第1園 舎は園児の送迎があり、園庭開放が難しい 為、第2園舎を活用して、開かれた園づく りに努めていきたい。	B	A

施設・設備	B	日々の安全点検を職員に周知し、子どもたちが安全に過ごすことができるようにしたい。	B	B
-------	---	--	---	---

(注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」

- 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

#### 4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
保育指導	I C Tが導入され写真や動画などを活用し、子どもたちが日々園でどのように過ごしているのか、子どもの身体的な成長や主体的に活動している心の成長の姿を、家庭と共有できるように伝えていきたい。
保護者・地域との連携	小規模園になり、子ども同士のかかわりだけでなく地域力をお借りしながら、子どもたちと地域の方との交流を深め、地域にいる子どもを知っていただいたり、保護者に地域の良さを知っていただいたりする機会を作ってきたい。

#### 5 評価全体を通して（総評）

・今年度自園の研修テーマでもある“子ども一人一人を大切にされた保育”を通して保育の工夫や環境構成、園生活の発信などが保護者にも伝わり、園に対して協力的で保育に対して理解していただいているように感じる。今後も保護者から信頼していただける園づくりをしていきたい。

・健康管理や安全管理（園間のバス移動を含む）、不適切保育など保育者の仕事は多岐にわたっている。その中でも、子どもの笑顔や成長する姿と日々接することができることは、保育者の喜びでもあります。保育が楽しいと感じることができるよう、職員会議などの時間を確保し保育の話や悩みを気軽に話すことができる雰囲気づくりをしていきたい。また、職員間の共通理解や保育の共有など、みんなの思いが同じ方向性になる事が大切なので、園の雰囲気づくりに努めていきたい。

総合評価	評 価 の 理 由
B	小規模園になり、子ども・保護者・保育者との関係がさらに深まりつつある。今後も保護者の関係性を大切に、引き続き子どもが安心して自己表現できる家庭的な温かさのある園づくりに努めていきたい。